



# **SD エンターテイメント株式会社**

(東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード 4650)

## **2023年3月期 第1四半期 決算補足説明資料**

**2022年8月9日 (火)**

**SDエンターテイメント株式会社 代表取締役社長 長谷川 亨**

## 〈2023年3月期 第1四半期 事業概況〉

### ▶ 2023年3月期 第1四半期 トピックス

- ▶ 2023年3月期 第1四半期 業績
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 事業別概況
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 事業動向
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 今後のビジョン



- ・ 「SDF阪急伊丹駅前店」が女性専用ヨガ&ピラティススタジオとして2022年5月2日リニューアルオープン
- ・ ディノスカフェ大曽根駅前店2022年4月閉店
- ・ ディノスカフェ天六店→フィットネス24大阪天六店に名称変更  
2022年5月カフェスペース閉鎖し、キッズスタジオを近日オープン予定
- ・ ほちくれが2022年6月29日で5周年「ほちくれ 5TH ANNIVERSARY～とれたね祭り～」開催
- ・ 2022年4月 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、「JASDAQ（スタンダード）」から「スタンダード市場」に移行

## 〈2023年3月期 第1四半期 事業概況〉

▶ 2023年3月期 第1四半期 トピックス

## ▶ 2023年3月期 第1四半期 業績

▶ 2023年3月期 第1四半期 事業別概況

▶ 2023年3月期 第1四半期 事業動向

▶ 2023年3月期 第1四半期 今後のビジョン

## 〔連結損益計算書〕

- ・売上高は前事業年度に実施した構造改革に伴う「事業の選択と集中」「不採算店舗の整理」で減少したものの、販売管理費は同改革やコストの圧縮の効果により、営業利益は改善

(単位：千円)

	2022年3月期 第1四半期実績	2023年3月期 第1四半期実績	増減額
売上高	917,954	873,858	▲44,095
売上総利益	821,424	814,214	▲7,210
販売管理費	979,794	875,463	▲104,330
営業利益	▲158,369	▲61,249	97,120
経常利益	▲179,366	▲74,929	104,436
特別利益	9,517	31,193	21,676
特別損失	12,180	21,024	8,844
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲198,999	▲76,924	122,075

## 〔セグメント損益〕

## ウェルネス事業 — 健康増進・社会生活の維持・発展を推進する事業 —

- ・フィットネスでは前事業年度末に2店舗を閉店したことにより減収となったものの、保育が年度始めの4月から園児充足率を一定以上に維持することができ、事業全体として売上高は前年を上回った

売上高 742,877千円（前年同期比110.1%） 営業利益 ▲74,796千円（前年 ▲82,168千円）

## クリエイション事業 — 余暇とココロを充実させる事業 —

- ・ぽちくれが5周年を迎え周年キャンペーンを6月中旬に実施、売上高は前年8月の2ブランド統合による影響もあり、前年同期比較59.7%となったが固定費を抑えることができ営業利益は改善

売上高 41,712千円（前年同期比59.7%） 営業利益 ▲7,249千円（前年 ▲21,364千円）

## 不動産賃貸事業 — 自社物件の有効活用を目的とした事業 —

- ・自社不動産の売却（2022年2月札幌北24条ビル、2022年3月ディノス札幌白石ビル）により売上高・営業利益共に、前年同期の約半分となった

売上高 42,221千円（前年同期比52.3%） 営業利益 25,152千円（前年同期比50.1%）

## 〔連結貸借対照表〕

## 自己資本比率は前期末に比べ0.7%増加

(単位：百万円)

資産の部 (主要項目抜粋)	2022年3月末	2022年6月末	前期比較	負債・資本の部 (主要項目抜粋)	2022年3月末	2022年6月末	前期比較
流動資産	1,851	1,620	▲231	流動負債	2,453	2,236	▲216
(現金及び預金)	1,463	1,270	▲192	(短期借入・一年内返済 長期借入・社債)	1,589	1,588	▲0
(売掛金)	156	144	▲12	(その他流動負債)	864	648	▲216
(その他流動資産)	231	205	▲26	固定負債	1,480	1,376	▲104
固定資産	3,649	3,482	▲166	(社債・長期借入金)	1,189	1,132	▲56
(有形固定資産)	2,669	2,624	▲45	(その他固定負債)	291	244	▲47
(無形固定資産)	60	50	▲9	負債合計	3,934	3,613	▲320
(投資その他の資産)	919	807	▲111	株主資本	1,558	1,481	▲76
繰延資産	3	2	▲0	純資産合計	1,570	1,492	▲77
資産合計	5,504	5,106	▲398	負債・純資産合計	5,504	5,106	▲398
				自己資本比率	28.5%	29.2%	-

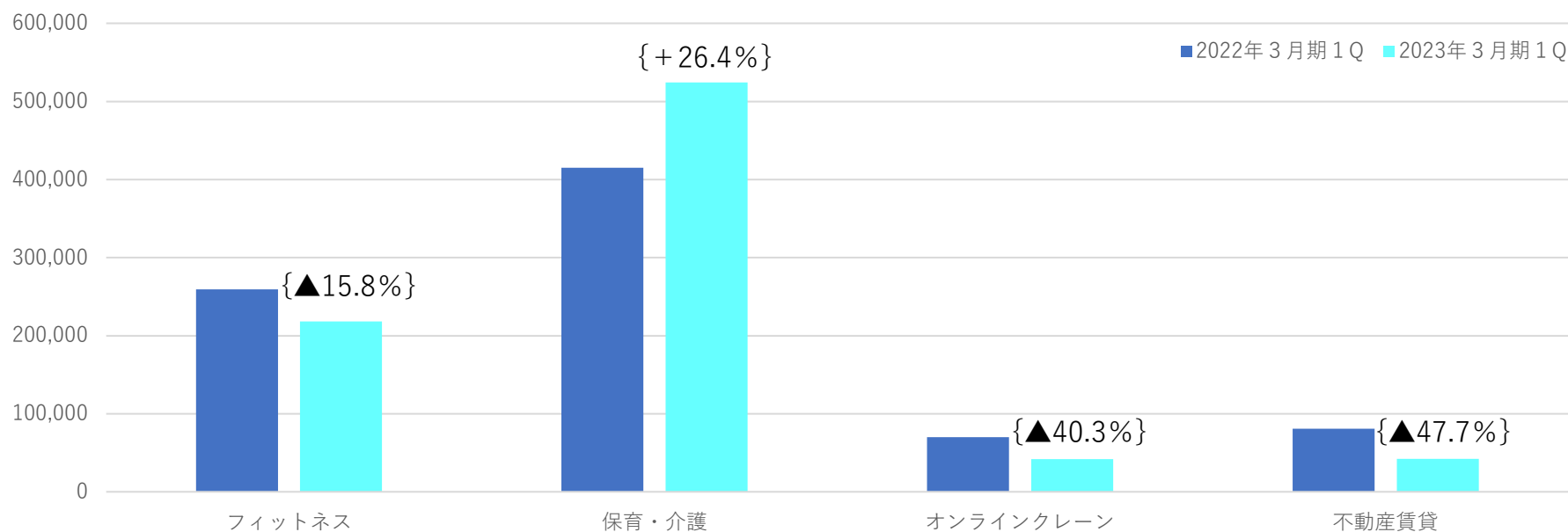
※ 百万未満は切り捨てて表示しております。

## 〔セグメント損益〕

前事業年度に実施した構造改革（第1フェーズ）に伴う「事業の選択と集中」「不採算店舗の整理」により売上高が減少している事業があるものの、保育施設の増園により売上高は前年同期比4.8%減に抑えることができた

## 報告セグメント別売上比較

（単位：千円）





## 〈2023年3月期 第1四半期 事業概況〉

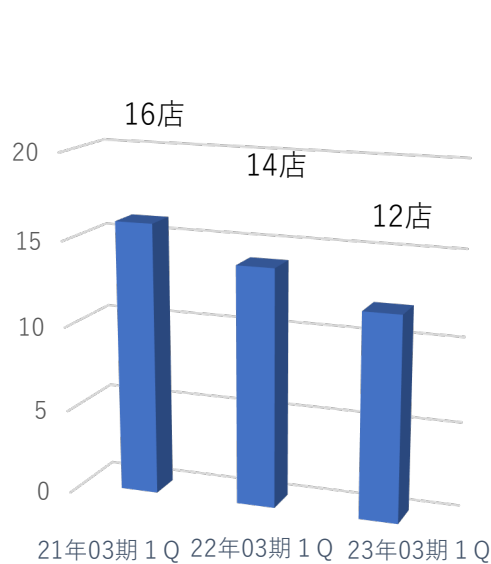
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 トピックス
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 業績

## ▶ 2023年3月期 第1四半期 事業別概況

- ▶ 2023年3月期 第1四半期 事業動向
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 今後のビジョン

〔ウェルネス事業 -フィットネス-〕

ライフスタイルに合わせた利用ができるよう業態変更を行い、24時間営業と365日営業の店舗数を増やしコロナ禍でも在籍会員数が徐々に回復傾向にある



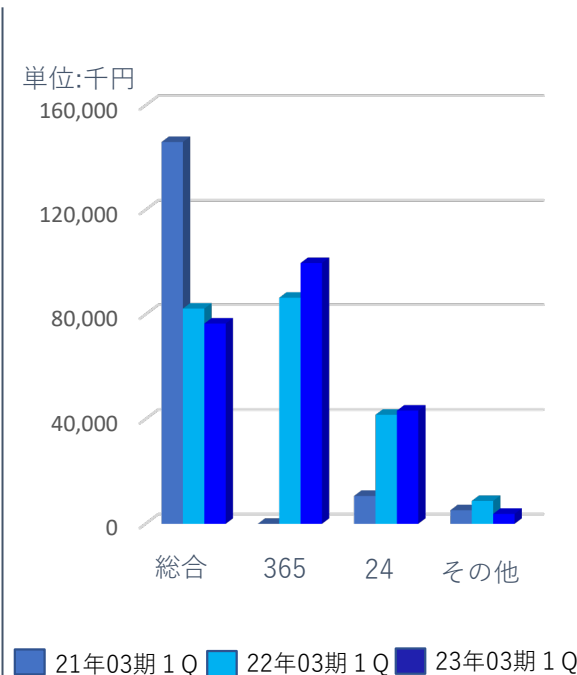
店舗数推移  
(同四半期比較)

コロナ以降事業収益の回復等を図るため「不採算店舗の整理」を行い、改善が難しい店舗を閉店



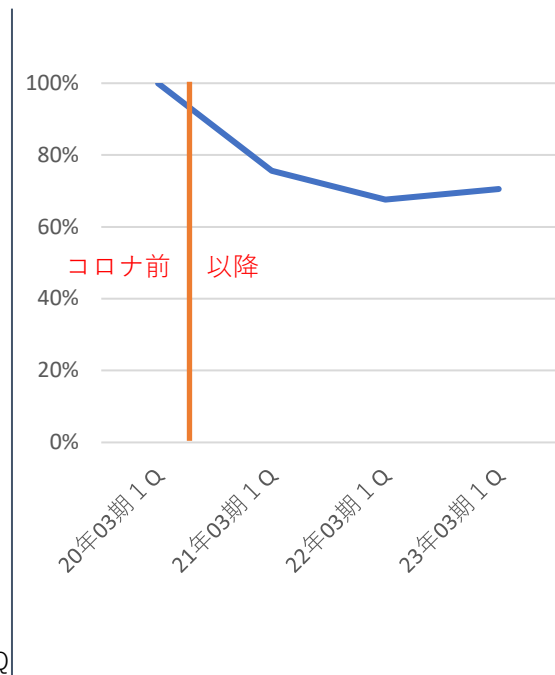
売上高・営業利益  
(同四半期比較)

構造改革による、不採算店舗の整理により減収しているものの、利益改善している



業態別の売上推移  
(同四半期比較)

店舗の業態を2021年から地域にあった業態に変更したことにより新業態の売上高は伸びている (※閉店店舗除く)



在籍数推移  
(同四半期比較)

コロナ前の19年03期1Qと比べコロナ以降は在籍数は減少し、また「不採算店舗の整理」により店舗が減少したものの、業態変更により22年03期1Q以降在籍数が増えてきており回復傾向

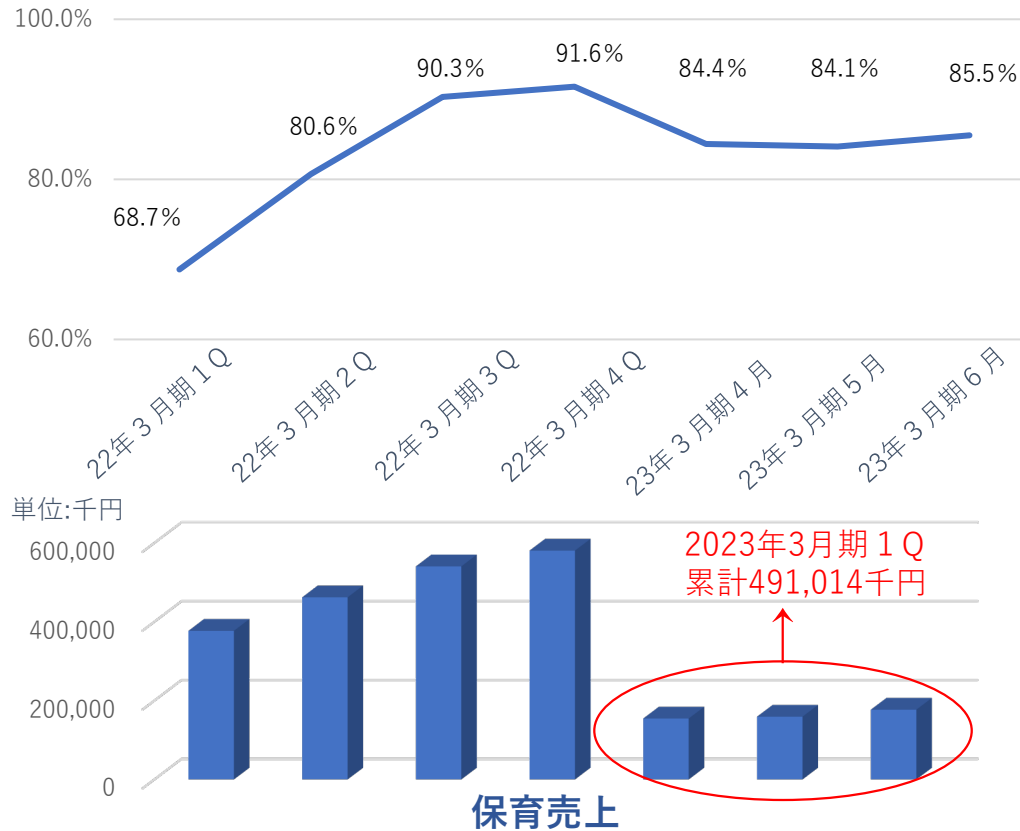
〔 ウェルネス事業 - 保育・介護等 - 〕

保育は第1四半期より高い水準を維持している

介護はコロナ禍による通所介護施設での利用自粛により利用率は停滞しているものの、訪問介護や障がい者グループホームにおいて利用率が伸びている

〈保育〉

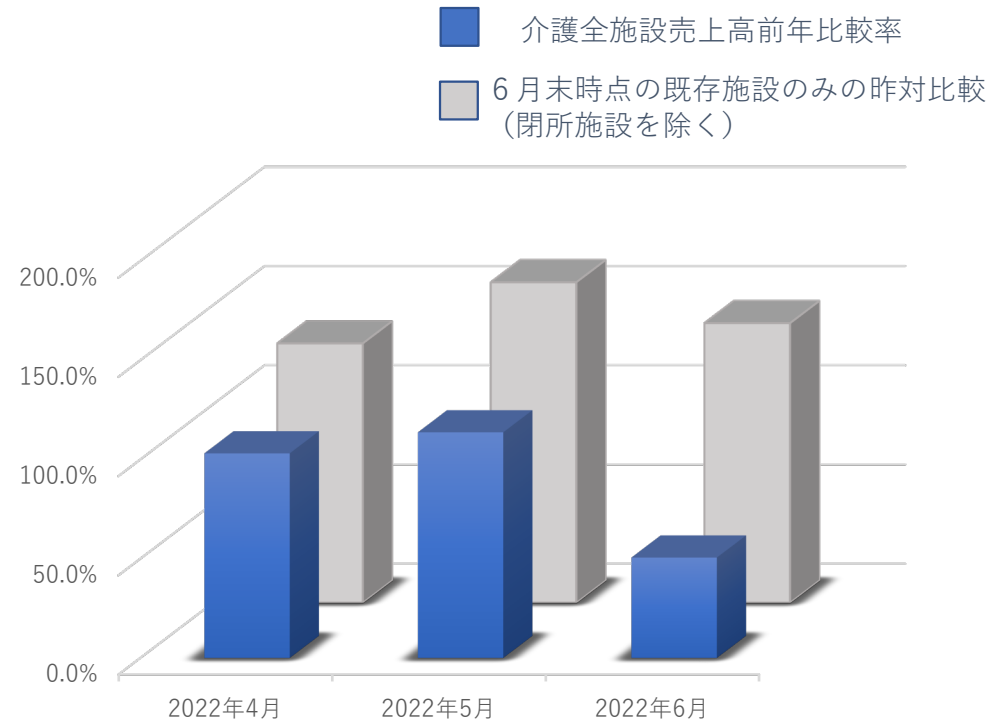
園児定員充足率推移（3ヶ年）



保育は前年度のうちに進めていた園児募集広告の効果等により高水準でスタートした

〈介護〉

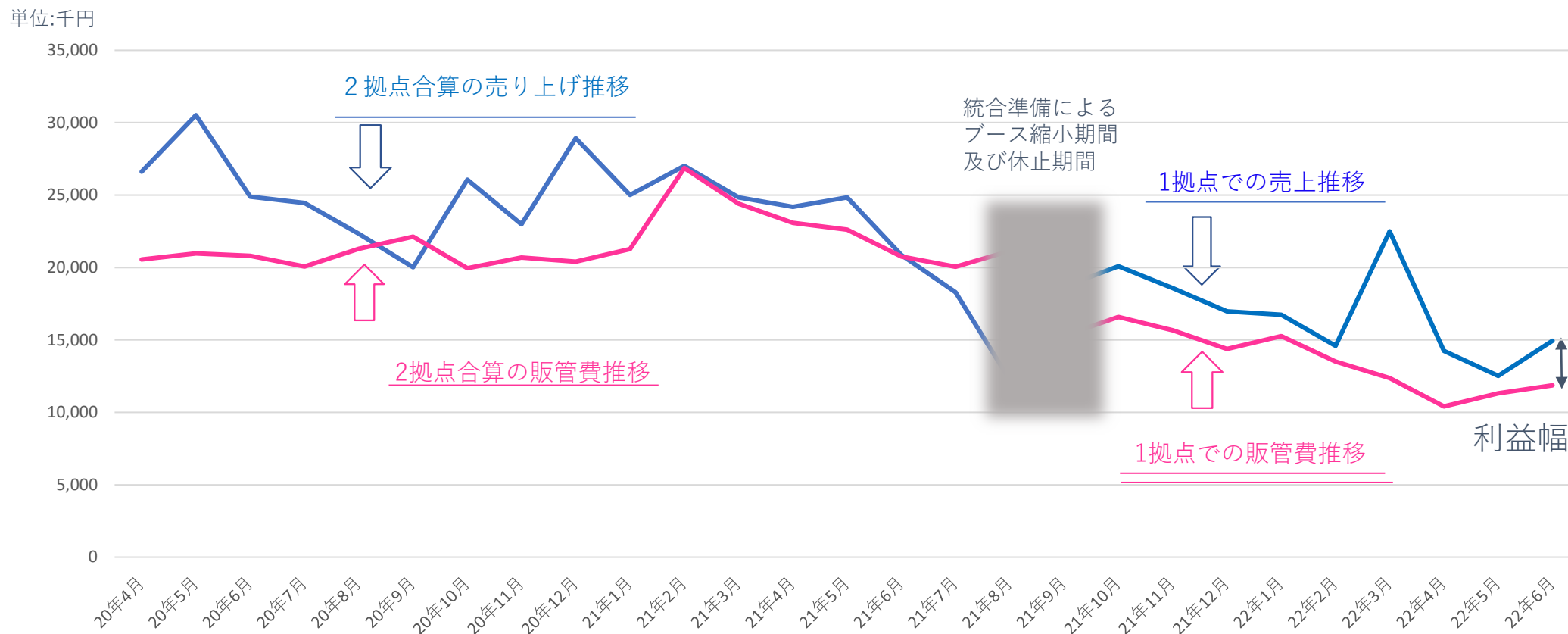
介護売上高比率比較（前年同月）



介護では、2022年5月末で子会社の通所介護3施設を閉所したが、既存施設の訪問介護・グループホームの売上高が伸びている

## 〔 クリエーション事業 – オンラインクレーンゲーム – 〕

拠点統合により昨年第1Qより売上高は約40%減少したものの、固定費は約49%減少



2拠点（「ぽちくれ」「#とれたね」）時には売上高に対し販管費の構成比が前期第1Qでは95%であったが1拠点（ぽちくれ）に統合後の今期第1Qでは79%になり販売費率を16%改善

## 〈2023年3月期 第1四半期 事業概況〉

- ▶ 2023年3月期 第1四半期 トピックス
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 業績
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 事業別概況

## ▶ 2023年3月期 第1四半期 事業動向

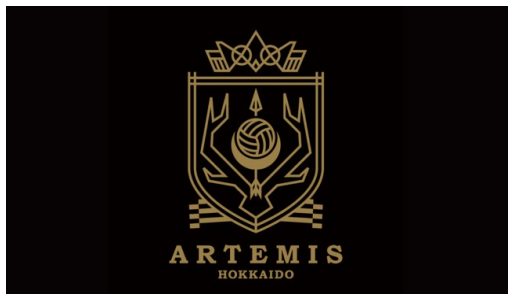
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 今後のビジョン

## 〔 1Qの主な動向〕



## ■ リニューアルオープン 〈SDF阪急伊丹駅前店〉

- ・ SDF24 阪急伊丹駅前店が2022年5月2日に女性専用のヨガ&ピラティススタジオとして業態変更し、リニューアルしました。



## ■ サプライスポンサー、試飲販売

- ・ サプライスポンサー契約をしている女子バレーボールクラブアルテミス北海道主催のスプリングマッチに出展し、プロテインとオリジナルサプリの試飲販売を行いました。
- ・ アルテミス北海道とは2020年12月に設立された女子バレーボールクラブです。監督をはじめ北海道出身の選手を中心としたクラブ構成が特徴です。2022年2月15日にサプライスポンサー契約を締結し選手が能力及びコンディショニングに集中できる環境としてSDフィットネス24札幌白石店の施設利用をしています。札幌市を拠点とする2社が連帯し、スポーツ・フィットネスを通じて地域振興・活性化を行うことを目的としています。

〔 クリエーション事業 - オンラインクレーンゲーム - 〕



## 6月29日でぽちくれは5周年を迎え 5TH ANNIVERSARY～とれたね祭り～

6月29日～7月23日までイベントを開催し豪華抽選会やポイントが当たるキャンペーンを実施。期間中、景品が300種類から1000種類に拡大するなど5周年の特別なイベントを開催しました。

## 〈2023年3月期 第1四半期 事業概況〉

- ▶ 2023年3月期 第1四半期 トピックス
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 業績
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 事業別概況
- ▶ 2023年3月期 第1四半期 事業動向

## ▶ 2023年3月期 第1四半期 今後のビジョン



〔フィットネス事業〕

・ 2022年9月 SDフィットネス24大阪天六店にキッズスタジオをオープン予定

「好きなことを特技にできるようなエンタメスクールを目指しています」



## 〔EC事業〕

・ EC事業で新たにサプリメントの販売スタート予定

EC事業では、当社**オリジナル**の**サプリメント**を発売。



**W FIBER (ダブルファイバー)** とは、カラダがよろこぶ**食物繊維、乳酸菌、ビタミン、ミネラル**、がこれ一本に含まれております。  
特に日本人は食物繊維が不足しているというデータが出ています。

## 商品の特長

## FEATURE

## 2種類の食物繊維でスッキリ！

水溶性食物繊維・不溶性食物繊維がバランスよく配合されています。  
水さえあれば、いつでもどこでも摂取でき飽きずに飲み続けられるレモンフレーバー。

## 18種類の乳酸菌5種類のビフィズス菌！

多様な菌を配合することでそれぞれの腸内環境にアプローチ。  
腸内の悩みを解決し、「腸美人」を目指しましょう！

## 11種類のビタミン・7種類のミネラルも！

1日に必要な量の1/2のビタミンが配合されています。  
健康維持を目指し、7種類のミネラルを配合しています。

## 〔対処すべき課題〕

### 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大懸念、ウクライナ情勢の長期化に伴う社会不安や物価上昇等により不透明な状況が続くものと思われまます。長期化した新型コロナウイルス感染症による影響は、価値観や消費行動、社会構造にも変化をもたらしており、当社グループにおいては、これらを注視し変化に対応した事業活動をしていく必要があると考えております。

2022年3月期において、当社グループは、事業収益力の回復及び安定的な財務基盤の強化を図るため「**有利子負債の大幅削減**」、「**事業の選択と集中**」、「**不採算店舗の整理**」を柱とする構造改革（第1フェーズ）に取り組んでまいりました。今後は、第2フェーズとして、コアとなるウェルネス事業の成長戦略を推進し事業収益力を伸ばすとともに、『**人生に寄り添う**』企業として、幼少期・学童期の保育、キッズスクールから、青年期・壮年期以降のフィットネス+ $\alpha$ （美容等）、生活体力維持向上デイサービス、訪問介護サービスを通じて、世代を超えて『**健康**』で『**楽しい**』人生のサポートを追求してまいります。

フィットネスでは、従来の“体づくり”や“健康のための運動”だけでなく、『**アソビビジネス**』として、遊びやエンタメ要素を取り入れたアクティビティなど**特長のあるサービスやプログラム**を充実してまいります。

保育関連においては、『**あそび**』を通じてココロとカラダの成長を促すプログラムの開発・導入と認可保育事業への参入検討に向け積極的に取り組んでまいります。

新たな収益源となる事業の開発につきましても、ウェルネス事業と並行して必要な人材や設備の集中的な投資等を検討してまいります。

### 人材育成

さらに、今後の成長事業拡大や課題の対応に必要な優秀な人材の確保のため社外からの専門職採用を進めるとともに、社内での人材育成を積極的に推進するため教育体制・給与・評価制度の整備を進めてまいります。

## 免責事項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。